

■卓話■

髙田洋一会員



卓話 髙田洋一会員



2



自己紹介

東京都足立区生まれ 57歳
東京農工大学 農学部卒
協和発酵工業株式会社 入社
盛岡営業所、本社販促企画・商品開発
ベアレン醸造所 設立に参加
専務取締役 マーケティング、ブランディング、人
事などを担当
2022年5月 代表取締役社長に就任
趣味：ランニング（昨年、銀河100kmマラソン完
走）

3

なぜ起業したのか

4

私の酒遍歴

- 大学時代に銀座のカフェバーでバイトをしてお酒の興味が目覚める。カクテル→バーボン→シングルモルト
- 社会人になり、ワインと出会う。ワインアドバイザー、コンテストに挑戦
- 清酒や焼酎でも出会いがあり、幅広くお酒を楽しんできた。



5

日本のクラフトビール市場

- 1994年規制緩和により地ビールが誕生
- 1990年代後半は全国各地に地ビールができて地ビールブームに。
- 2000年以降、ブームは下火に。多くの地ビール会社が閉鎖、倒産へ。

6

地ビールのシェアはビール全体の1%程度。このままでは多様なビールを楽しむ文化がなくなってしまう！

7

起業の思い

8

起業の思い

ビールにもTPOに合わせて選択する楽しみを提案したい。日常の中のささやかな贅沢を感じられるビール。本物のプレミアムビールを造り、多くの人に飲んでもらいたい。

9



10

ベアレン醸造所について



11

会社概要

- 2001年設立 親会社はなく、個人出資
- 2022年度 売上高7億6千万円 創業以来20年連続増収
- スタッフ数65名（正社員38名、男性36名、女性29名、1月1日）
- 事業所：本社（盛岡市北山）、雫石工場 直営レストラン（盛岡駅前、材木町、中ノ橋、菜園）

12

私たちのビールは 何のために存在するのか

13

ベアレンの願い(ミッション)

のど越しを楽しみ、どこでも高品質の同じ味わいが楽しめる日本のビール。しかし、ビールの楽しみのすべてを知られているとは言えません。

私たちは、地元岩手に根ざし、ヨーロッパの伝統的なビール文化を尊重して、手造りの本格ビールを造っています。そのビールは日々飲み続けられる味わいながら、贅沢なコクと豊かな余韻にあふれています。

私たちは、ビールにも選ぶ楽しみ、プレミアムを味わう楽しみを提案し、岩手からビール文化を発信していきます。そんな文化が食卓をもっと豊かに、ハッピーなものにしてくれると私たちは信じています。

14

ベアレンが目指すプレミアムとは

- お酒の美味しさはあいまい 美味しさを裏付ける機能的側面
 - …熟成、贅沢な原料、手間暇かけた、貴重な
 - こういったことは真似されやすい
- ベアレンビールを買う意味を作りたい
 - …物語への参加、ビジョンへの共感・参画



15

ビールと地域とのかかわり

- 元来、保存性の悪いビールは長期輸送が難しく、飲む場所で作られ飲まれるお酒だった
 - そのため地域に根付いたビールが生まれた
- そもそもクラフトビールは伝統への回帰から始まった。これからのクラフトビールは地域に根付いた文化の醸成が大事になってくる。

16

ベアレンはどう社会とかがわるか

- クラフトビールという選択肢を持ってもらう
- 地域に根ざしたビール文化を作る
- それを通してコミュニケーションの活性化を図り町を元気にする
- 地域を代表するブランドとなり、それをもとめてくる人を増やし、交流人口を増やす

17

盛岡との出会い

- 22歳、社会人になって最初の赴任地が盛岡でした。
- 初めての東京を離れての生活 独身生活最後の時間を盛岡で過ごしました。



■会長報告■

皆様、こんにちは。本日も例会にご参加いただき、ありがとうございます。8月1日から4日にかけて行われた「盛岡さんさ踊り」、外国人を含むお祭り参加希望者が参加できる「おへれんせ集団」に当クラブから横断幕を寄贈し、参加しました。他のクラブの方からお褒めをいただき、国際奉仕の一環として意義があったものと思います。参加頂きました皆様、祭りを楽しんでいただけたでしょうか？また、本当にお疲れ様でした。

パリオリンピックも後半に入りましたが、前半は柔

道や体操などで大いに盛り上がりました。私個人としては、大学時代にフェンシングクラブに短期間でしたが所属していたこともあり、男女フェンシングの活躍に感動しました。男子エペ個人と男子フルーレ団体に金メダル、男子エペ団体に銀メダル、女子サーベル団体に銅メダルをいただきました。日本フェンシング協会の20年前からの強化が実を結んだとのこと、非常に喜ばしいことです。後半も日本人選手の活躍を期待しています。

以上、会長報告でした。

■幹事報告■

1. 8/1～4さんさパレードにご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。
2. 来週の例会はお盆期間中につき休会となります。8/21納涼会の出欠確認、締め切り本日となっていますので、お返事まだの方は事務局までお願いいたします。
3. 本日は8月第一例会ですので終了後、理事役員会がでございます。

■委員会報告■

奉仕プロジェクト 青少年奉仕リーダー 細野裕之の会員 インターアクト年次大会報告

2024年8月1日

2024-2025年度 青少年奉仕委員会

委員長 細野裕之

国際ロータリー第2520地区 2024-2025インターアクト年次大会 報告



7月30日、一関文化センターにて国際ロータリー第2520地区2024-2025年度インターアクト年次大会が開催され盛岡北ロータリークラブ提唱の岩手女子高校、インターアクトクラブの生徒さん2名と顧問先生が出席されました。大会には岩手県より8校（生徒41名先生11名）、宮城県より7校（生徒49名先生10名）が参加し盛大に開催されました。活動報告では岩手女子高校がトップバッターでしたが、緊張しながらも立派に堂々と活動報告が行われました。各校が活動報告を行ったあとは、グループディスカッションが行われ「IAC活動を通じて、今私たちにできること、未来に繋ぐべきことは何か」というテーマで活発に意見交換しておりました。最後にグループ発表がありどのグループも素晴らしい発表となりました。短い時間ではありましたが、充実したとても中身の濃い大会となりました。閉会セレモニーでは来年は仙台育英学園高校がホスト校となること発表され成功裏に閉会となりました。以上、報告とさせていただきます。

SMILE

☆二宮一見会長… 鳶田さんの卓話、楽しみにしていました。

☆岩井澤昭一会員… 鳶田さんの卓話にスマイル。皆さん「さんさ」ご苦労様でした。

☆吉田祐一会員… 皆さん「さんさ」お疲れ様でした。鳶田さんの卓話、楽しみにしています。

☆日山健一会員… お盆がやってきます。ご先祖様にスマイルします。

☆北田春美会員… 盛岡北口ロータリークラブ寄贈の横断幕サイコーでした。盛岡さんさ踊り初参加の会員もいらした事に驚いています。笑顔で沿道に手を振る盛岡北口ロータリークラブの会員はとても素敵でした。特に、鳶田さんの着流しはカッコよく、身長があるので目立っていました~。その鳶田さんの記念すべき卓話に出席できず、すみません。ごめんなさいのスマイルです。プラスご報告、おへれんせ集団参加者、今年はドイツ、フランスパリ、韓国、台湾、シドニー、シンガポール他、国際奉仕にも繋がりました。

☆細野裕之会員… 鳶田さんの卓話、楽しみにしました。

☆菊地克昌会員… さんさパレードお疲れさまでした。会場の熱気がラインの画面からも伝わってきました。鳶田さんの卓話、楽しみです。

■ゲスト・ビジター■

盛岡RC 松澤一美様

■メーカーキャップ■

山口崇会員 (5/26 委員会顔合わせ)

■出席累計表彰■ (7月達成)

藤澤大祐会員 (3年)

■記念日おめでとうございます■

誕生日

山口崇会員 (26日)

結婚記念日

渡邊史隆会員 (20日)

創立記念日

岩井澤昭一会員 (29日) (有)岩井沢工務所

出 席 報 告

会員数	34名
出席数	13名
出席率	41.94%
前々回修正出席率	51.61%